

岡山大学

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」(実施主体：日本学術振興会)に関連する社会変革の取組を月刊でお知らせ

J-PEAKS MONTHLY DIGEST

vol. 1
2024.4


TOPICS
1

岡山大学広報「いちよう並木」Vol.105をJ-PEAKSの特集号として発行!



3月29日に岡山大学の広報誌である「いちよう並木」にJ-PEAKS採択特別企画を掲載しました。

研究力で社会を変革できる大学を目指し、本学が取り組む4つの挑戦とその狙いをご紹介します。本学は長期ビジョン2050の達成に向け、J-PEAKS採択大学と連携し、新たな価値の創出と社会変革を強力に進めることで、「世界に誇れる研究大学の山脈」を築いていきます。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12963.html

TOPICS
2

研究・イノベーション共創機構を新設

研究・イノベーション活動などを担当していた「研究推進機構」と地域貢献・活動などを担当していた「地域総合研究センター(AGORA)」を廃止し、研究・イノベーション共創機構を4月に新設しました。

新機構の設置により、①研究・イノベーション・地域共創を一括管理、②スタートアップ・ベンチャーの専門部署の明確化、③教員と事務職員を配置し教職協働の実現、④教員が任命されていた部会の全廃による教育研究時間の確保、⑤シンプルなレポートラインを実現することで迅速な変化が可能になりました。

岡山大学内のみならず、我が国の大学組織において先導的な取り組みを実施します。大学経営改革をさらに加速させ、新たな価値の創出と社会変革を進めます。

参考 <https://www.orzd.okayama-u.ac.jp/kikou/aisatsu/>

TOPICS
3

「オール岡大」でデジタル田園健康特区構想を推進! 第1回打ち合わせ会を開催

3月14日、「オール岡大」体制の実現に向けた第1回打ち合わせ会を開催しました。

岡山大学が参画しているデジタル田園健康特区(岡山県吉備中央町)を生かした社会変革を進めるため、本学津島キャンパスの各専門領域の教員が一堂に会し、自治体・協働企業・大学との強固な連携から「知」と「技」を結集し、「心の豊かな暮らし」(Well-being)と「持続可能な環境・社会・経済」(Sustainability)を実現することをゴールに設定して、熱い議論を行いました。

J-PEAKSにおいても外なる場(拠点)としてのデジタル田園健康特区を生かし、研究力で社会変革を実現します。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12934.html



TOPICS

4

岡山大学高等先鋭研究院 宇宙戦略事業に向けた「三朝ブレインストーミング」を開催

3月7、8日に、高等先鋭研究院を構成する4研究所（惑星物質研究所、資源植物科学研究所、異分野基礎科学研究所、文明動態学研究所）が世界トップレベルの有機連携・新結合を図る取り組みの一つとして、「三朝ブレインストーミング」を開催しました。

今回のブレインストーミングは、宇宙戦略事業に関するシーズやアイデアを出し合う場、“新結合”が生まれる場として、より拠点間の連携が加速することを目的としました。7日にランチミーティング、研究発表会、情報交換会を8日に惑星物質研究所の視察見学、意見交換会を実施しました。

J-PEAKSの取り組みの中でも卓越研究の成果から地球規模の課題解決、地球外の活動も視野に入れた新技術開発を実現させます。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12943.html



TOPICS

5

総合技術部技術職員が津山高専技術部活動報告会に参加～大学－高専間の技術職員連携強化を推進～



3月11日、本学総合技術部長と技術職員らが岡山県津山市の津山工業高等専門学校（津山高専）を訪問し、「津山工業高等専門学校 令和5年度技術部活動報告会」に出席、意見交換・施設見学等を行いました。本報告会はJ-PEAKSの知と技のメッカ創出の一環としても実施されました。

津山高専での活動は、本学総合技術部の活動や、学生への情報系の教育環境の改善において大変参考になる内容でした。今後も、流れが早く大きく変わっていく社会に応じるため、津山高専とともに力と知恵を合わせて人材育成や技術等の発展・継承を進めていきます。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12986.html



TOPICS

6

岡山大学研究力・イノベーション創出強化本部の設置に関する規程

岡山大学長期ビジョン2050「地域と地球の未来を共創し、世界の革新に寄与する研究大学」について、その実現のための諸施策を集中的にマネジメントする中核組織として、岡山大学研究力・イノベーション創出強化本部の設置に関する規程を制定しました。社会変革の実現への司令塔として、迅速かつ全学的な改革を柔軟にできるようになりました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/shokisoku/reiki_honbun/u352RG00000391.html



TOPICS

7

岡山大学高等先鋭研究院の設置に関する規程

資源植物科学研究所、惑星物質研究所、異分野基礎科学研究所、文明動態学研究所及び世界と伍して高度で尖った研究活動を行う研究群における研究戦略や知財管理等を担う研究マネジメント人材群の確保・活用及び集中的な研究環境改革等のシステムを組み合わせた研究力・イノベーション創出強化促進の取組を推進するため、岡山大学高等先鋭研究院の設置に関する規程を制定しました。我が国で稀有なマネジメントシステムを実行します。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/shokisoku/reiki_honbun/u352RG00000390.html



TOPICS

8

文部科学省「高度医療人材養成事業(医師養成課程充実のための教育環境整備)」に採択



文部科学省令和5年度大学改革推進等補助金「高度医療人材養成事業(医師養成課程充実のための教育環境整備)」に採択されました。

本学は最重点研究分野のひとつにヘルスケア分野を指定しており、全学を挙げて戦略的に取り組んでいます。また、J-PEAKSにおいても、医療・ヘルスケアの取り組みを推進しており、社会変革に挑戦しています。今回、採択を受けた本事業もJ-PEAKSなどとの事業等と連携し、我が国の「未来の医療」を担う高度医療人材の育成・輩出を強化推進します。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13052.html

TOPICS

9

岡山大学腸健康科学研究センターの看板除幕式を開催

本年4月に全学センターとして「腸健康科学研究センター」を設置し、4月9日に同センターの看板除幕式を薬学部1号館玄関前において挙行了しました。

本学の研究マネジメント体制のもと、多分野統合型の研究体制・組織を構築し、人(患者と健常者)のデータを利活用した網羅的な腸研究を推進し、社会実装へ繋げ、腸と人の健康増進に貢献します。また、岡山大学における腸に関する研究のリソースの融合を行うことで本学の強みを先鋭化します。J-PEAKSの医療・ヘルスケアの取り組みとともに密に関係するセンターです。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13009.html

TOPICS

10

長崎讓慈助教、奥舎有加助教に岡山大学「研究准教授」の称号を付与

学術研究院医歯薬学域の長崎讓慈助教、奥舎有加助教を研究准教授として選任し、研究准教授の称号を付与しました。

岡山大学では、研究力強化促進と若手研究者育成などの観点から、優れた研究業績を有する研究者の全学を挙げた支援を実施しています。その支援のひとつとして、「准教授」が独立した研究代表者として活躍することを促進するため、「研究教授」の称号と研究費配分や研究活動の充実などのインセンティブを付与する「研究教授」制度、講師と助教を対象とした「研究准教授」制度を実施しています。

J-PEAKSにおいても研究者制度改革を強力に進め、より良い研究環境を実現します。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12997.html

TOPICS

11

遺伝情報を活用した健康増進の実現に向けて連携協定を締結

岡山県玉野市における健康増進の実現に向けて、同市・地方独立行政法人玉野医療センター・NTTライフサイエンス株式会社・PwCコンサルティング合同会社と相互の連携を強化することを目的に、連携協定を3月に締結しました。

本協定は産学官5者が連携することで、一人ひとりの疾患リスクと予防法への理解を深めるとともに、特定健康診査結果と遺伝子関連検査結果をフィードバックして、玉野市民の健康増進の実現を目指す、我が国でも極めて挑戦的で珍しい取組です。J-PEAKSの外なる場での活動のひとつとして、イノベーション創出を図り、Well-being社会の実現を目指しています。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12985.html



TOPICS

12

高等先鋭研究院・異分野基礎科学研究所の沈建仁所長・教授が「東レ科学技術賞」を受賞 ～光合成研究で世界を先導し、より良い社会変革を拓く～



写真提供：公益財団法人東レ科学振興会

高等先鋭研究院を構成する機関のひとつである異分野基礎科学研究所長の沈建仁所長・教授が公益財団法人東レ科学振興会「第64回(令和5年度)東レ科学技術賞」を受賞しました。3月18日に日本工業倶楽部(東京・丸の内)で贈呈式が行われました。

研究業績は、天然光合成の機構解明の基礎を作っただけでなく、人類の夢のエネルギーでもある「人工光合成」における人工触媒の合成に重要な指針を与える国際的に卓越した研究であることなどが高く評価され、今回の受賞となりました。

沈所長・教授の光合成の基礎研究とその先にある人工光合成はJ-PEAKSにおいても重要な取り組みです。私たちの生活を一変する社会変革を実現します。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13045.html



TOPICS

13

岡山大学SDGs推進表彰2023を受賞した研究室と 職員のチームが取り組みを発表

4月10日、本学部局連絡会にて、2023年度岡山大学SDGs推進表彰を受賞した団体の取り組み発表が行われました。「その他職場貢献等分野」で優秀賞を受賞した、学術研究院社会文化科学学域(経済)・天王寺谷達将准教授の研究室と研究・イノベーション共創管理統括部産学連携課の船倉隆央主査が表彰されました。

J-PEAKSにおいても前例にとらわれず、学内の組織風土の醸成を図っており、今回のような取り組みは、ALL岡大の総合知により、分野・世代を超え、イノベーション創出、社会変革を起こす先導モデルケースです。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix_id721.html



TOPICS
14

岡山大学病院の徳増一樹助教がAMED「令和6年度『統合医療』に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業」に採択



岡山大学病院総合内科・総合診療科の徳増一樹助教が、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の「令和6年度『統合医療』に係る医療の質向上・科学的根拠収集研究事業」に採択されました。

徳増助教は「『統合医療』に関する科学的知見の集積に関する研究」において、「全身倦怠感のあるLong COVID患者に対する補中益気湯の有効性検証のランダム化比較試験」の研究課題名のもと、選ばれました。

世界的なパンデミックからのWell-beingの再生、その先にある社会変革に取り組みます。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13029.html

TOPICS
15

尾崎敏文教授(医)、遠西大輔研究教授がAMED「令和6年度革新的がん医療実用化研究事業」に採択

学術研究院医歯薬学域(医学系)整形外科学教室の尾崎敏文教授、岡山大学病院ゲノム医療総合推進センターの遠西大輔研究教授が、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の「令和6年度革新的がん医療実用化研究事業」(一次公募)に採択されました。

尾崎教授は「高リスク後腹膜肉腫に対する標準治療開発のための国際多施設共同臨床試験」という題目のもと、遠西研究教授は「CAR-T細胞療法抵抗性・耐性におけるリンパ腫組織内細胞間クロストークの時空間的解明と新規治療開発」という題目のもと、選ばれました。

J-PEAKSの取り組みとも連携し、メディカル・イノベーションの創出を推進します。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13007.html
https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13028.html

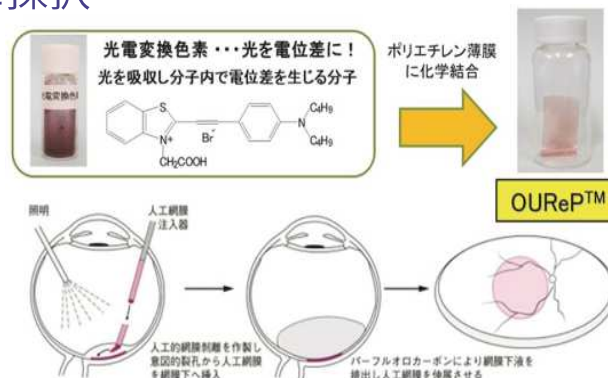
TOPICS
16

松尾俊彦教授(ヘルスシステム統合科学)がAMED「令和6年度難治性疾患実用化研究事業」に採択

学術研究院ヘルスシステム統合科学学域(岡山大学病院眼科)の松尾俊彦教授が、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の「令和6年度難治性疾患実用化研究事業」(一次公募)に採択されました。

松尾教授は「希少難病『網膜色素変性』の失明患者に対する光電変換色素薄膜型人工網膜OUReP植え込み手術の探索的医師主導治験」という研究開発課題で採択されました。

岡山大学独自の医療技術の臨床応用、そして「目が見える」という幸せを実現させます！



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13008.html



TOPICS
17

文部科学省から「日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業」を受託

本学は、文部科学省より「日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業」を受託し、オールジャパンで東南アジアから日本への留学を推進し強化します。

本事業の採択は、2014年度に受託した文部科学省受託事業「留学コーディネーター配置事業（ミャンマー）」において、ミャンマーからの留学生数を3倍に伸ばした実績および、2019年度に受託した「日本留学海外拠点連携推進事業（東南アジア）」で、コロナ禍でも他機関に先駆けてオンライン・ハイブリッドでの日本留学促進とネットワーク構築をオールジャパンで展開した実績等が高く評価されたことによるものです。

優秀な留学生人材の確保は、学生の人材育成だけに限らず、将来の科学技術・イノベーションを支える若手研究者の卵を早期から確保・育成する点においても効果的な戦略です。また本ネットワークを活用した研究国際交流・新規事業等の促進も期待できます。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id12971.html

TOPICS
18総合技術部の堀格郎課長がテクニカルマスターに認定
～東京工業大学以外ではTCカレッジ開校以来初!
岡山大学職員の「高度化」を推進～

総合技術部設計製作・社会基盤技術課の堀格郎課長が、テクニカルマスター（TM）に認定され、3月11日に東京工業大学で開催された「令和5年度TCカレッジ認定式」に出席しました。同カレッジを主導している東京工業大学以外からは初めての認定者で、東京工業大学以外の技術職員では最短となる2年間でTM課程を修了しました。

J-PEAKSでは職員の高度化とその能力による社会変革を推進しています。今後もTCカレッジなどを活用して、技術職員らの高度化を戦略的に強化促進します。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13010.html

TOPICS
19

異分野基礎科学研究所の仁科教授が文部科学大臣表彰を受賞

科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者を顕彰する文部科学省の「令和6年度科学技術分野の文部科学大臣表彰」の受賞者が決まり、若手科学者賞に本学異分野基礎科学研究所の仁科勇太教授が選ばれました。4月17日、文部科学省で表彰式が行われました。

仁科教授は「黒鉛の二次元材料化および機能開拓に関する研究」の業績が評価され受賞しました。

J-PEAKSにおいて、仁科教授をはじめとする優れた若手研究者への支援を加速することで、研究力強化に向けた取り組みを進めています。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id13044.html

